

唾液（発症から9日以内）での SARS-CoV-2 検査手順

1. SARS-CoV-2 検査の流れ（PCR 検査と抗原定量検査の使い分け）

①まず抗原定量検査を実施し、結果が以下の場合 PCR 検査を実施する。

- ・判定保留域（0.67 pg/mL 以上 4.00 pg/mL 未満）
- ・低値陽性：10 pg/mL 未満
- ・医師の判断で再検査が必要となった場合は、PCR 検査を実施

②医師の判断で必要となった場合（転院先の要望等）は、PCR 検査を実施

2. 受付時間：平日 8:30～16:00（休日は各科で ID NOW 実施）

（終了時間以降は検査当直で預かり冷蔵保存し、平日時間内測定）

3. 結果報告：原則、電話連絡は陽性時のみ

1. ＜案内＞ 別紙手順用紙（様式 1）、患者説明用紙（様式 2）参照

2. ＜依頼＞ 各診療科医師がオーダーリングシステムにて依頼

「機能別 2」→「34. 新型コロナウイルス・インフルエンザウイルス関連」

→「**唾液新型コロナウイルス抗原定量検査**」

*** 唾液が採取できず鼻咽頭に変更になった場合は再オーダーをお願いします。**

担当医は採取ラベルを発行しておく。

3. ＜準備＞採取容器と搬送容器（コロナ陽性患者のみ必要）を緊急検査室へ取りに行く。

4. ＜採取＞

場所：各診療科外来、病棟（個室である必要はありません）

①**採取者**は、手袋・サージカルマスク・フェイスシールド・袖なしエプロンを装着、患者はマスクを装着。

採取ラベルを貼った採取容器にファネル（漏斗）をセットして患者に渡す。

②1～2mL の唾液が採取できるように、患者に唾液を溜めてもらい、

口先をファネル上部に押し当て唾液を容器内に流し込んでもらう。

③**ファネルを看護師が持ったゴミ袋に入れてもらう。**

④検体を受け取り、**量を確認し確実にフタを閉め**、トレイに置く。

⑤手袋を脱いで手指衛生し、**新しい手袋を装着して容器表面を消毒**する。

⑥介助者が保持する**清潔な袋**に検体を入れる。手袋を脱ぎ手指衛生する。

⑦介助者が袋を密封し、コロナ陽性患者の場合はバイオボトルに入れる。

入院時検査は清潔な袋に入った検体を患者に渡し、中央採血室の窓口に提出してもらう。

⑧処置台や椅子を清拭する。

5. ＜搬送＞

採取後は、細菌検査室へ直ちに搬送する。できない場合は冷蔵保存する。

検査結果：カットオフ値 唾液：0.67pg/mL

抗原定量検査で判定保留（0.67 pg/mL 以上 4.00pg/mL 未満）や低値陽性 10 pg/mL 未満の場合は、PCR 検査の依頼、ラベル発行をお願いします。再採取の必要はありません。

